

“ほんまもんの体験”を通し、 子供と大人が共に輝き育ちあうことを目指して

京都府京都市

活動名

中京もえぎ幼稚園学校運営協議会

関係する学校

中京もえぎ幼稚園

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	学校支援地域本部	コーディネーター	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
放課後子供教室		コーディネーター	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
		実施場所			開始年度	放課後児童クラブとの連携		
コミュニティ・スクール		指定日			委員数	児童生徒数	学級数	
		平成 18 年 2 月 25 日			9 人	151 人	6 学級	

活動の概要・経緯

子供たちの豊かな育ちを目指す保育の実現に向け、保護者・地域の方々に幼稚園の運営を力強くサポートしていただくことを目指し、平成18年2月に「もえぎティンクル」（中京もえぎ幼稚園学校運営協議会）が発足した。「幼児期にはできるだけ“ほんまもんの体験”を重ねたい」という思いのもと、心を揺らし、様々な感情体験を積み重ねることで、優しくたくましい心や体を育て、子供・保護者・地域・教職員が共に学び、育ちあうことを目指して活動を行っている。

「親子の育ちプロジェクト」は、公立幼稚園教育の柱である「親も子も共に育つ」という理念のもとで実践を重ねている。保護者に直接、教育活動に参画してもらうことで、幼稚園教育や幼児の発達への理解推進を図っている。

「伝統文化プロジェクト」では、本園近隣の様々な伝統文化にあふれた地域環境を生かし、園児に“ほんまもんの体験”をさせるということが大きな活動の趣旨である。祇園祭の体験は、園児に代々受け継がれている祇園祭ごっこ遊びの原点でもある。また、お茶会体験では、園児自らが実体験を重ねることで「おもてなしの心」を学び、卒園前には保護者にお茶をたてておもてなしをする親子お茶会を行っている。

「教育研究プロジェクト」では、学校運営協議会委員（理事）である学識経験者を交え、隣接する幼・小・中3校1園の交流を生かしながら幼児教育に関する研究や学校評価項目の検討を行い、更なる保育の充実に努めている。

特徴

【特徴的な活動内容】

- 親子の育ちプロジェクト…「親も子もともに育ちあう」ことを目的に、保護者に“パパママティーチャー”や“絵本ボランティア”“託児ボランティア”を通して直接教育活動に参画してもらうことや、夏祭りの企画・運営などで教員と交流する中で、幼児の実態に触れ、幼稚園教育の理解を推進するなどして、保護者自身の自己有用感を高めることにもつなげている。
- 伝統文化プロジェクト…地域の方々にゲストティーチャーとしてお世話になり、祇園祭お話し会、山鉾見学、お茶会体験、餅つきなど日本古来の伝統文化である“ほんまもんの体験”を積み重ね、子供たちの遊びや経験・生活の幅を広げ、心が揺れたり、遊びが深まったりすることで、豊かな心を育てている。
- 教育研究プロジェクト…喫緊の教育課題に対する研究や学校評価項目の検討及び結果の検証をすることで、教育活動の充実に努めている。

【実施に当たっての工夫】

- 日頃の教育活動との兼ね合いを考え教員との連携を取りながら、支援活動等を計画的に行う。
- 「地域の学校の出発点」としての連携を軸に、学校評価を活用しながら子供たちにつけたい力や活動の意図・目的などを明確にして、子供たちへの支援活動に参画している方々に共通理解を図る。
- 継続的な取組となるようゲストティーチャーの方々とのコミュニケーションを大切に、また、活動が形骸化しないよう相談を重ねながら体験活動等に取り組む。

事業を実施して

- 活動に参加された保護者からは、幅広く子供の世界を見ることで、我が子の見方も変わることができたという声がある。教員の見方や幼稚園の考え方にも触れてもらうことで、強力な幼稚園教育の理解者となってもらえる。教員も保護者や地域の方々に納得してもらえるだけの幼稚園教育の発信を行う力を高めることにもつながる。
- 園児にとっては、園や家庭だけでは得られないような体験を重ねることができること、遊びの中に再現されることなど教育効果があると考えられる。
- ゲストティーチャーの方々には、お茶会などの活動を通して、子供たちの変化や成長に気づいてくださり、幼稚園教育への理解を進めてくださっている。子供たちが一生懸命保護者をもてなそうとする姿から、心の育ちの大事さを感じてもらっており、親子のほほえましい実態にも触れ、毎年の活動を楽しみにしていただいている。

その他

もえぎティンクルの活動も10年を迎え、教育活動の中に定着してきている。今後は更にそれぞれのプロジェクトが充実・発展していくよう、委員（理事）・企画推進委員・ボランティアの連携を密にし、取組を進めていきたい。また、もえぎティンクルの活動を広め、より多くの方々に理解・協力してもらえるように広報誌を作成していきたいと考える。



親子お茶会の様子



祇園祭お話し会